



論点整理

第八章 今後の検討スケジュール・検討の在り方等

今後の検討スケジュール・検討の在り方等

今後のスケジュール

- ◆ 教育課程企画特別部会で本「論点整理」を取りまとめ、教育課程部会に報告した後、既に設置されている総則・評価特別部会や各WGにおいて、第一章～第七章の方向性や内容、全国学力・学習状況調査等の各種データで明らかになった教科ごとの課題等を十分に踏まえて検討を進め、遅くとも令和8年の夏頃までに取りまとめを行う。
- ◆ その後、教育課程部会での「審議まとめ」を経た上で、令和8年度中に中央教育審議会として「答申」が取りまとめられるよう、検討を進める。



本部会と各WGとの関係

- ◆ 今後の総則・評価特別部会や各WGにおける審議は、本「論点整理」を的確に踏まえ、各教科等固有の議論を加味、共有しつつ、更に豊かなものとすることが極めて重要であり、各教科等や学校段階に閉じたものであってはならない。
- ◆ このため、教育課程企画特別部会は、教科等横断的・共通的な事項の具体化を担う総則・評価特別部会とともに、各WGの議論の状況を把握し、教育課程全体としてどのような資質・能力を育成するか、積極的に調整する役割を果たす。

その他

- ◆ 第四章において、小学校の総合的な学習の時間に情報の領域（仮称）を付加し、中学校で情報・技術科（仮称）を創設する方向性を示したが、これに伴う標準授業時数の増加について、諮問で示されている年間の標準総授業時数を現在以上に増加させないとの方針を前提としつつ、教育課程企画特別部会及び総則・評価特別部会にて教育課程全体を見通した観点から検討を行い、令和8年の春頃を目途に一定の結論を得ることとする。

自分の心を整える

くんし たいら どうとう しょうじん とこし せきせき
君子は 坦 かに蕩蕩たり。小人は 長 なえに戚戚たり。

（訳）君子は心が平静で、様子がのびのびしている。小人はいつでも心配事や悩みがあり、せかせかして少しも落ち着きがない。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）